

厚生労働行政推進調査事業費（地域医療基盤開発推進研究事業）

歯科疾患実態調査の効率的・効果的な実施方法等に関する研究

令和5年度 分担研究報告書

歯科疾患実態調査への参加を促進する実施条件に関する研究

研究分担者	大島克郎	日本歯科大学東京短期大学歯科技工学科	教授
研究代表者	福田英輝	国立保健医療科学院	統括研究官
研究分担者	三浦宏子	北海道医療大学歯学部	教授
研究分担者	井田有亮	東京大学医学部	講師
研究分担者	石塚洋一	東京歯科大学衛生学講座	准教授
研究協力者	堀江 博	奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課	主任調整員
研究協力者	本田和枝	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	医療参事
研究協力者	村田幸枝	北海道医療大学歯学部	講師

研究要旨

【目的】歯科疾患実態調査（以下、歯科調査）の参加者数は回を重ねるごとに減少が続いており、この傾向が続けば、今後の歯科保健医療政策の企画や立案に支障をきたすことが危惧される。そこで本研究では、コンジョイント分析を用いて、歯科調査への参加を促進する実施条件を明らかにすることを目的とした。

【方法】調査対象は、Web 調査会社の登録者から、都市部（政令指定都市）の居住者 420 人、中間部（中核市、施行時特例市、中都市）の居住者 420 人、地方部（小都市、町村）の居住者 420 人の計 1,260 人を抽出した。それぞれの標本は、性別・年代別で均等に割付をした。仮想的な歯科調査の実施条件を構成する属性・水準を次のように設定した：①場所（公共施設、近隣の歯科医院、商業施設、自宅）、②曜日（平日・週の前半、平日・週の後半、土曜、日曜）、③調査時間（なるべく早いほうがよい、多少時間がかかってもよい）、④調査時間の予約（有り、無し）、⑤調査後の歯科医師による説明（有り、無し）、⑥記念品（有り、無し）、⑦調査前の説明会（有り、無し）。なお、金銭的インセンティブ付与は歯科調査への実施条件として現実的な対応策ではないため除外した。直交表に基づき計 16 種類の実施条件の組合せを作成し、調査参加者に歯科調査への参加意思を 11 段階のスケールで評価した。コンジョイント分析により、地域ごとに平均相対重要度と部分効用値を算出した。

【結果】分析対象者は、計 955 人（都市部 324 人、中間部 333 人、地方部 298 人）であった。平均相対重要度で高値を示した属性は、都市部では、場所（43.4%）、曜日（16.7%）、記念品（13.5%）などが、中間部では、場所（47.6%）、歯科医師の説明（15.6%）、曜日（14.4%）などが、地方部では、場所（46.5%）、歯科医師の説明（15.4%）、記念品（14.2%）などであった。部分効用値で高値を示した水準は、都市部では、場所は近隣の歯科医院、曜日は土曜、記念品は有りなどであった。中間部では、場所は近隣の歯科医院、歯科医師の説明は有り、曜日は土曜などであった。地方部では、場所は近隣の歯科医院、歯科医師の説明は有り、記念品は有りなどであった。

【結論】歯科調査への参加促進のための実施条件として、近隣の歯科医院での実施、土・日曜の開催、調査後の歯科医師による説明の実施、記念品配付などで対応を図ることが有用である可能性が示唆された。一方、自宅訪問や平日開催、調査時間がかかることなどは好ましくない対応として捉えられていた。地域間で傾向は近似していたが、場所や曜日など一部異なる項目も認められたため、地域に応じた対応が重要であると考えられた。

A. 研究目的

歯科疾患実態調査（以下、歯科調査）¹⁾は、厚生労働省が実施する一般統計調査に位置付けられ、1957年から始まり、2022年には第12回調査が実施された。この調査の結果は、日本の歯・口腔の実態把握に用いられるとともに、今後の歯科保健医療政策の企画・立案等に資する基礎資料として広く活用されている^{2,3)}。歯科調査の対象者は、全国から層化無作為抽出されるため、国民の代表値であるといえる。しかし、当該調査の参加者数は回を重ねるごとに減少が続いており、第1回調査（1957年）では30,504人であったが、第11回調査（2016年）は6,278人（うち口腔診査受診者3,820人）、第12回調査（2022年）は2,709人（うち口腔診査受診者2,317人）と報告されている（図1）。この傾向が続けば、当該調査から得られる結果は全国の代表値と捉えることが困難になり、今後の歯科保健医療政策の企画や立案においても支障をきたすことが危惧される。

そこで本分担研究報告では、歯科調査への参加を促進する実施条件を明らかにするための分析等を行った。この結果に基づき、今後の歯科調査の実施にあたり、調査対象者の参加促進につながる基礎資料を提示することを目的とする。

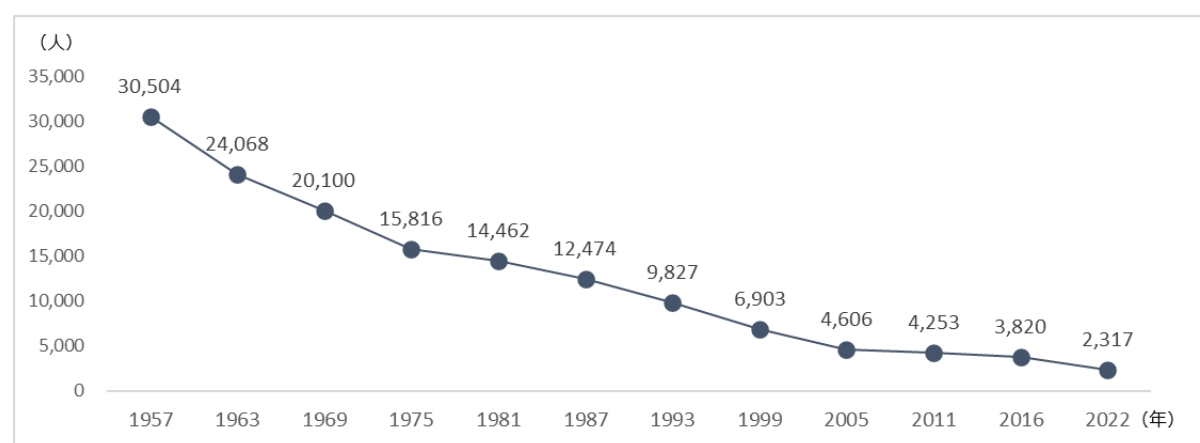


図1 歯科調査の参加者数の推移（1957～2022年）

※ 2016年と2022年の参加者は、質問票のみ回答した者と、質問票の回答＋口腔診査を受診した者との大別されるが、図中の値は後者のみを示す。

B. 研究方法

1. 調査対象

調査対象は、Web調査会社（株式会社マクロミル）の登録者から、都市部（政令指定都市）の居住者420人、中間部（中核市、施行時特例市、中都市[※]）の居住者420人、地方部（小都市[※]、町村）の居住者420人の計1,260人を抽出した（※中都市：人口10万人以上で、政令指定都市・中核市・施行時特例市以外の市、小都市：人口10万人未満の市）。それぞれの標本は、性別（男性、女性）と年代別（20代、30代、40代、50代、60代）とで均等に割付をした。調査期間は、2024年1月12日～15日の4日間とした。

2. 調査内容

本研究は、歯科調査への参加を促進する実施条件を明らかにするための分析を行うことを趣旨としている。このため、調査内容の検討にあたっては、研究教育機関・行政機関等の勤務者により構成された研究班で協議のうえ、歯科調査への参加に影響を与えられられる項目を抽出・選定した。また、厚生労働省もオブザーバーとして参加した。

仮想的な歯科調査の実施条件を構成する属性と水準を次のように設定した：①場所（公民館や保健センターなどの公共施設、近隣の歯科医院、スーパーやショッピングモールなどの商業施設、自宅（調査者が自宅に来てくれる））、②曜日（平日・週の前半（月～水曜）、平日・週の後半（木・金曜）、土曜、日曜）、③調査にかかる時間（待ち時間なども含む）（なるべく早いほうがよい、多少時間がかかってもよい）、④調査時間の予約（有り、無し）、⑤調査後、歯科医師による歯・口の状態の説明（有り、無し）、⑥記念品（ハブラシなど）（有り、無し）、⑦調査前の説明会（有り、無し）（表1）。なお、金銭的インセンティブ付与は歯科調査への実施条件として現実的な対応策ではないため除外した。

これらの7つの属性のうち、属性①②は4水準、属性③～⑦は2水準であり（ $L^{16}(2^5 4^2)$ ）、直交表に基づき計16種類の実施条件の組合せを作成した（表2）。

表1 仮想的な歯科調査の実施条件として設定された属性と水準

	属性	水準
①	場所	公民館や保健センターなどの公共施設、近隣の歯科医院、スーパーやショッピングモールなどの商業施設、自宅（調査者が自宅に来てくれる）
②	曜日	平日・週の前半（月～水曜）、平日・週の後半（木・金曜）、土曜、日曜
③	調査にかかる時間（待ち時間なども含む）	なるべく早いほうがよい、多少時間がかかってもよい
④	調査時間の予約	有り、無し
⑤	調査後、歯科医師による歯・口の状態の説明	有り、無し
⑥	記念品（ハブラシなど）	有り、無し
⑦	調査前の説明会	有り、無し

表2 仮想的な歯科疾患実態調査の実施条件（計16種類）

実施条件 No	場所	曜日	調査にかかる時間 （待ち時間なども含む）	調査時間の 予約	調査後、歯科医 師による説明	記念品 （ハブラシなど）	調査前の 説明会
1	公民館や保健センターなどの公共施設	平日・週の前半（月～水曜）	なるべく早いほうがよい	有り	有り	有り	有り
2	公民館や保健センターなどの公共施設	平日・週の後半（木・金曜）	なるべく早いほうがよい	有り	有り	無し	無し
3	公民館や保健センターなどの公共施設	土曜	多少時間がかかってもよい	無し	無し	有り	有り
4	公民館や保健センターなどの公共施設	日曜	多少時間がかかってもよい	無し	無し	無し	無し
5	近隣の歯科医院	平日・週の前半（月～水曜）	なるべく早いほうがよい	無し	無し	有り	無し
6	近隣の歯科医院	平日・週の後半（木・金曜）	なるべく早いほうがよい	無し	無し	無し	有り
7	近隣の歯科医院	土曜	多少時間がかかってもよい	有り	有り	有り	無し
8	近隣の歯科医院	日曜	多少時間がかかってもよい	有り	有り	無し	有り
9	スーパーやショッピングモールなどの商業施設	平日・週の前半（月～水曜）	多少時間がかかってもよい	有り	無し	無し	有り
10	スーパーやショッピングモールなどの商業施設	平日・週の後半（木・金曜）	多少時間がかかってもよい	有り	無し	有り	無し
11	スーパーやショッピングモールなどの商業施設	土曜	なるべく早いほうがよい	無し	有り	無し	有り
12	スーパーやショッピングモールなどの商業施設	日曜	なるべく早いほうがよい	無し	有り	有り	無し
13	自宅（調査者が自宅に来てくれる）	平日・週の前半（月～水曜）	多少時間がかかってもよい	無し	有り	無し	無し
14	自宅（調査者が自宅に来てくれる）	平日・週の後半（木・金曜）	多少時間がかかってもよい	無し	有り	有り	有り
15	自宅（調査者が自宅に来てくれる）	土曜	なるべく早いほうがよい	有り	無し	無し	無し
16	自宅（調査者が自宅に来てくれる）	日曜	なるべく早いほうがよい	有り	無し	有り	有り

調査にあたっては、まず、調査参加者に対して歯科調査の概要についての説明文を提示した。説明文の内容は次のとおりである：「厚生労働省が行っている調査の一つに「歯科疾患実態調査」という調査があります。この調査は、日本に住む人々の歯・口の状態を把握し、歯

科に関する政策を考えるための基礎データを集めることを目的としています。調査の実施にあたっては、日本各地でいくつかの地域が選ばれ、その地域に住む人々への協力依頼がなされます。対象となった人は、公民館などの会場に出向き、歯科医師による歯・口の診査が行われます。しかし、最近では、この調査に参加する人が減っており、大きな課題となっています。」

次に、16 種類の仮想的歯科調査の実施条件に対して、0～10 の 11 段階のリッカートスケール（「0：参加したいと思わない」「5：どちらともいえない」「10：参加したいと思う」）を用いて、それぞれ、調査に参加してみようと思うかどうか最もあてはまるもの 1 つ選択するように求めた。16 種類の実施条件は調査参加者ごとにランダムに表示されるように設定した。加えて、歯科疾患実態調査への参加経験等の関連調査項目を設定した。

3. 分析方法

分析にあたり、すべて等しいリッカートスケールで回答した者は除外した。このため、分析対象者は、計 955 人（都市部：324 人、中間部：333 人、地方部：298 人）とした（表 3）。

まず、分析対象者の基本属性を把握するため、各調査項目について基本統計量を算出した。次に、コンジョイント分析を用いて、地域ごとに平均相対重要度と部分効用値を算出した。また、参考として、リッカートスケールにより得られた回答の平均値を算出し、地域ごとに高値順にソートしグラフとして示した。データ処理には、統計解析ソフト Stata18 を使用した。

表 3 分析対象者

	調査参加者(a)	すべて同じスケール で回答した者(b)	分析対象者 (a-b)
都市部（政令指定都市）	420	96	324
中間部（中核市、施行時特例市、中都市）	420	87	333
地方部（小都市、町村）	420	122	298
計	1260	305	955

中都市：人口 10 万人以上の市で、政令指定都市・中核市・施行時特例市以外
小都市：人口 10 万人未満の市

4. 自由記述

歯科調査への参加を促進する取組み（金銭的インセンティブは除く）について自由記述で回答を求めた。得られた回答のうち、金銭的インセンティブに関する記述や対応策が無いなどの回答は除外し、さらに一部抽出したうえで参考として示した。

5. 倫理的配慮

本研究では株式会社マクロミルに登録されているモニタ会員を対象としており、これらの調査対象者はデータが研究等に利用されることを承諾して登録した会員であり、個人情報の保護は同社により実施されている。調査前に、すべての調査参加者から調査参加へのインフォームドコンセントを得た。本研究は、日本歯科大学東京短期大学倫理審査委員会の審査を受け、承認されたうえで実施した（2023 年 11 月、承認番号：313）。

C. 研究結果

表 4 に、分析対象者の基本属性を示す。本分析対象として、都市部：324 人（男性 155 人、女性 169 人）、中間部：333 人（男性 163 人、女性 170 人）、地方部：298 人（男性 142 人、女性 156 人）であった。

表 4 分析対象者の基本属性

		都市部 (n=324)		中間部 (n=333)		地方部 (n=298)	
		n	%	n	%	n	%
性別	男性	155	47.8	163	48.9	142	47.7
	女性	169	52.2	170	51.1	156	52.3
年代	20-29歳	69	21.3	69	20.7	64	21.5
	30-39歳	70	21.6	63	18.9	65	21.8
	40-49歳	65	20.1	73	21.9	55	18.5
	50-59歳	65	20.1	65	19.5	59	19.8
	60-69歳	55	17.0	63	18.9	55	18.5
世帯年収	<200万	27	8.3	21	6.3	27	9.1
	200-400万	49	15.1	61	18.3	53	17.8
	400-600万	52	16.0	63	18.9	71	23.8
	600-800万	40	12.3	48	14.4	31	10.4
	≥800万	60	18.5	55	16.5	36	12.1
	不明	96	29.6	85	25.5	80	26.8
就業状況	常勤	178	54.9	189	56.8	167	56.0
	専業主婦	54	16.7	38	11.4	41	13.8
	非常勤	54	16.7	57	17.1	51	17.1
	無職/その他	38	11.7	49	14.7	39	13.1
歯数	≥28	197	60.8	191	57.4	174	58.4
	20-27	110	34.0	117	35.1	105	35.2
	≤19	17	5.2	25	7.5	19	6.4
歯みがき頻度	≥3回	81	25.0	86	25.8	71	23.8
	2回	176	54.3	172	51.7	159	53.4
	1回	54	16.7	68	20.4	55	18.5
	ときどき/しない	13	4.0	7	2.1	13	4.4
歯間清掃	する	181	55.9	188	56.5	140	47.0
	しない	143	44.1	145	43.5	158	53.0
フッ化物利用	フッ化物塗布	62	19.1	50	15.0	45	15.1
	フッ化物洗口	25	7.7	20	6.0	26	8.7
	フッ化物配合歯みがき剤	98	30.2	99	29.7	109	36.6
定期歯科検診	あり	166	51.2	169	50.8	155	52.0
	なし	158	48.8	164	49.2	143	48.0
歯科疾患実態調査への参加経験	あり	3	0.9	8	2.4	7	2.3
	なし	321	99.1	325	97.6	291	97.7

図2に、コンジョイント分析により得られた地域別における仮想的な歯科調査の実施条件として設定された属性の平均相対重要度を示す。都市部では、場所(43.4%)、曜日(16.7%)、記念品(13.5%)、調査後の歯科医師による説明(9.8%)、調査にかかる時間(8.9%)、調査前の説明会(4.8%)、調査時間の予約(2.9%)の順に高値であった。中間部では、場所(47.6%)、歯科医師の説明(15.6%)、曜日(14.4%)、調査にかかる時間(8.6%)、調査時間の予約(3.4%)、調査前の説明会(0.6%)の順に高値であった。地方部では、場所(46.5%)、歯科医師の説明(15.4%)、曜日(12.2%)、記念品(9.5%)、調査にかかる時間(8.3%)、調査時間の予約(0.6%)の順に高値であった。

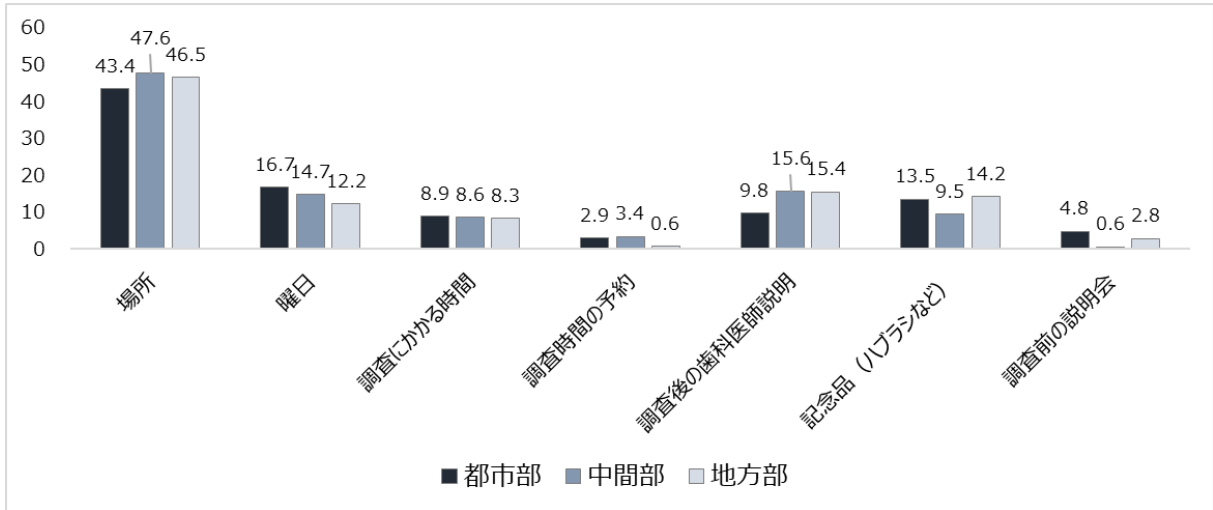


図2 地域別にみた仮想的歯科調査の実施条件の平均的相対重要度

図3に、コンジョイント分析により得られた地域別における仮想的な歯科調査の実施条件として設定された属性・水準の部分効用値を示す。都市部では、場所は近隣の歯科医院が望ましく、曜日は土曜、記念品はあることが望ましいなどの傾向がみられた。中間部では、場所は近隣の歯科医院が望ましく、歯科医師の説明はあり、曜日は土曜であることが望ましいなどの傾向がみられた。地方部では、場所は近隣の歯科医院が望ましく、歯科医師の説明はあり、記念品はあることが望ましいなどの傾向がみられた。

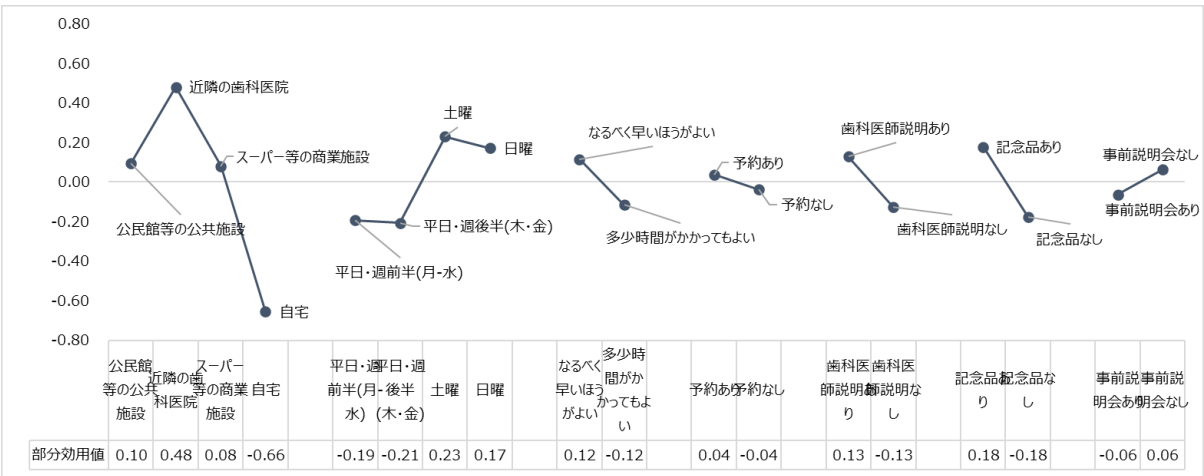


図3-1 仮想的歯科調査の実施条件の部分効用値 (都市部)

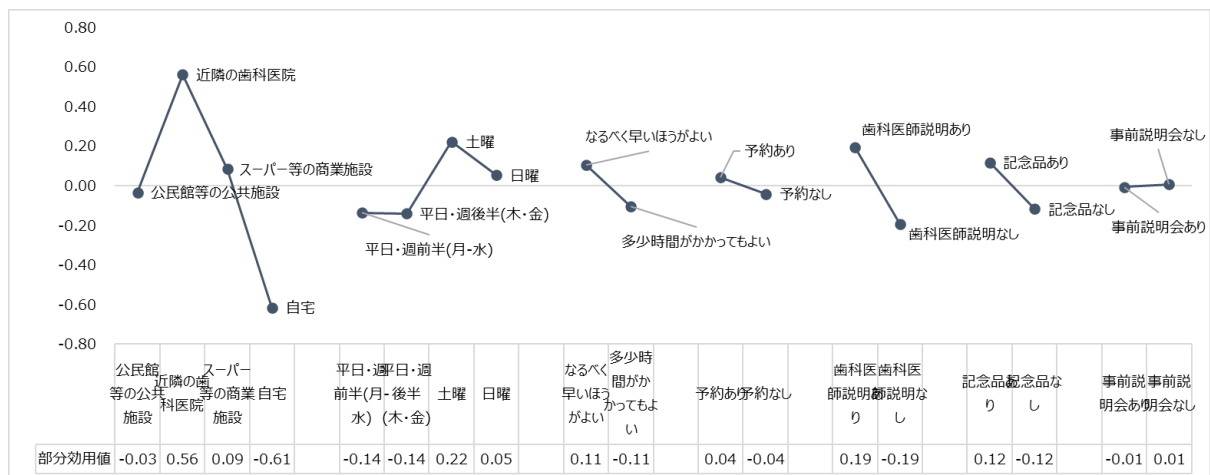


図3-2 仮想的歯科調査の実施条件の部分効用値（中間部）

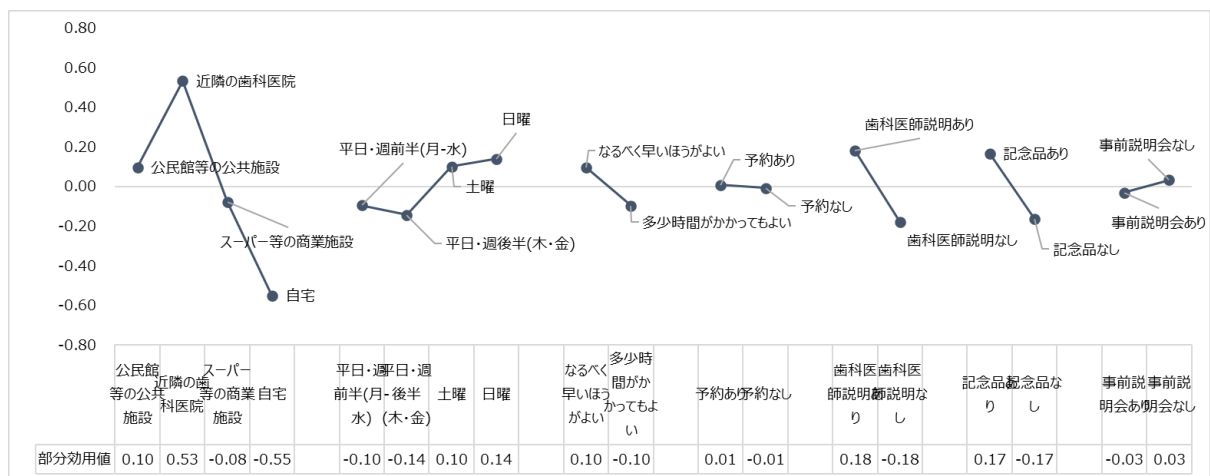


図3-3 仮想的歯科調査の実施条件の部分効用値（地方部）

図4に、リッカートスケールの平均値を高値順にしたグラフを示す。最も高値であった仮想的歯科疾患実態調査の実施条件は、いずれの地域においても「7」であった（場所：近隣の歯科医院、曜日：土曜、調査時間：多少時間がかかってもよい、調査時間の予約：有り、調査後の歯科医師による説明：有り、記念品：有り、調査前の説明会：無し）。



図4-1 仮想的歯科調査の実施条件（16種類）の平均値（都市部）



図4-2 仮想的歯科調査の実施条件（16種類）の平均値（中間部）



図4-3 仮想的歯科調査の実施条件（16種類）の平均値（地方部）

D. 考察

本分担研究報告では、金銭的インセンティブ以外で歯科調査への参加を促進する実施条件を把握することを趣旨として、各種分析等を行った。その結果、歯科調査への参加促進のための実施条件として、近隣の歯科医院での実施、土・日曜の開催、調査後の歯科医師による説明の実施、記念品配付などで対応を図ることが有用である可能性が示唆された。一方、自宅訪問や平日開催、調査時間がかかることなどは好ましくない対応として捉えられていた。なお、都市部・中間部・地方部の地域間で傾向は近似していたが、場所や曜日など一部異なる項目も認められたため、地域に応じた対応が重要であると考えられた。

保健医療に関する調査等への参加促進・阻害要因等を分析した先行研究は、これまでもいくつかが報告されている^{4~7)}。たとえば、安藤らの報告では、歯科調査は国民健康・栄養調査と同一会場で実施しており、歯科調査への参加者は国民健康・栄養調査における血液検査の参加者が多数を占めていたことを示している⁴⁾。この結果から、歯科調査への参加率向上を図るための対応として、血液検査の非協力者に歯科調査への協力を促すことや、調査会場に来場し血液検査の協力率を高める対策を講じることなどを提案している。また、ノルウェーの歯科健康調査への参加要因を調べた報告では、勤務時間により都合が合わないことや遠方であることが参加への阻害要因として関係している可能性を示唆している⁵⁾。さらに、歯科関係以外の報告では、フィンランドで1950年代から行われている健康診断調査への不参加の理由と参加を高める要因を調べた研究では、不参加の理由としては、健康診断のタイミングや場所が不適切だったことが最も多く挙げられており、今後の参加意欲を高める要因としては、調査の時間や場所を柔軟に選択できること、調査結果のフィードバックが得られることが多く挙げられていた⁶⁾。後者2つの報告^{5,6)}では、場所や時間などの要因を挙げており、本研究結果と同様の傾向を示している。とりわけ本研究では、歯科調査への参加促進要因として「場所」が最も重視されていることから、この実施条件の改善等を検討していくことの必要性を裏付けるものである。

なお、歯科調査は、厚生労働大臣が都道府県知事・政令市長・特別区長に委託し実施される政府統計調査であり、たとえば金銭的インセンティブの付与などの対応は現実的ではない。このため、本研究においても、金銭的インセンティブを除き、実際に歯科調査の実施条件として対応可能な内容を考慮したうえで、調査設計を行った。一方、疫学研究における郵送や電子調査への回答率向上を評価したコクランレビューによれば、金銭的インセンティブを用いることなどの有用性を示している⁸⁾。また、金銭的インセンティブによる調査参加の影響をシステマティックレビューとメタアナリシスにより評価した報告では、商品券や富くじよりも現金のほうが有用であることを示している⁹⁾。以上から、このような点も踏まえて、今後の歯科調査の参加促進につながる対応策を講じていくことも必要であると考えられる。

E. 結論

本分担研究報告において、金銭的インセンティブ以外で歯科調査への参加を促進する実施条件を把握するための分析を行ったところ、以下の結論が得られた。

- 歯科調査への参加促進のための実施条件として、近隣の歯科医院での実施、土・日曜の開催、調査後の歯科医師による説明の実施、記念品配付などで対応を図ることが有用である可能性が示唆された。
- 一方、自宅訪問や平日開催、調査時間がかかることなどは好ましくない対応として捉えられていた。
- 都市部・中間部・地方部の地域間で傾向は近似していたが、場所や曜日など一部異なる項目も認められたため、地域に応じた対応が重要であると考えられた。

F. 引用文献

- 1) 厚生労働省：歯科疾患実態調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/62-17.html> (2024 年 2 月 10 日アクセス)
- 2) 厚生労働省：歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の全部改正について，令和 5 年 10 月 5 日，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/shikakoukuuhoken/index.html，<https://www.mhlw.go.jp/content/001154214.pdf> (2024 年 3 月 18 日アクセス)
- 3) 厚生労働省：健康日本 21（第三次），https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21_00006.html (2024 年 3 月 18 日アクセス)
- 4) Ando Y, Aoyama S, Ozaki T, Miura H, Yanagizawa T, Ishihama N. An analysis of response rates in National Dental Disease Survey: Almost all subjects of National Dental Disease Survey in 2011 were the subjects of blood test in the National Health and Nutrition Survey. *Nihon Kosshu Eisei Zasshi*. 2016, 63, 319-24. doi: 10.11236/jph.63.6_319. (In Japanese)
- 5) Norheim PW, Helöe LA. Comparison between participants and non-participants in a dental health survey in northern Norway. *Community Dent Oral Epidemiol*. 1975, 3, 56-60. doi: 10.1111/j.1600-0528.1975.tb00280.x.
- 6) Tolonen H, Lundqvist A, Jääskeläinen T, Koskinen S, Koponen P. Reasons for non-participation and ways to enhance participation in health examination surveys-the Health 2011 Survey. *Eur J Public Health*. 2017, 27, 909-911. doi: 10.1093/eurpub/ckx098.
- 7) Al-Amad S, Awad M, Silverman H. Attitudes of dental patients towards participation in research. *East Mediterr Health J*. 2014, 13, 20, 90-8.
- 8) Edwards PJ, Roberts I, Clarke MJ, DiGiseppi C, Woolf B, Perkins C. Methods to increase response to postal and electronic questionnaires. *Cochrane Database Syst Rev*. 2023, 11(11):MR000008. doi: 10.1002/14651858.MR000008.pub5.
- 9) Abdelazeem B, Hamdallah A, Rizk MA, Abbas KS, El-Shahat NA, Manasrah N, Mostafa MR, Eltobgy M. Does usage of monetary incentive impact the involvement in surveys? A systematic review and meta-analysis of 46 randomized controlled trials. *PLoS One*. 2023, 18, e0279128. doi: 10.1371/journal.pone.0279128.

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

【参考】自由記述一覧（一部抽出）

結果説明をていねいにしてくれる。治療が必要なら、費用と時間などの説明もしてくれる
予約ができ、時間がかからない方法
自分の口の中の状態を説明して必要なことを教えてもらえる
定期健診に組み込んで調査すると行きやすいと思う。
歯の状態の説明と対処方法の説明
歯の健康の大切さを、もっと知らせる。
現状どういったケアを頑張ればいいかを詳しく教えてくれる
まず、待ち時間が短いこと。さらに、歯周病や、矯正や、ホワイトニング等、詳しく知りたい専門ブー スを設ける。老若男女によって、興味のあることが違うので、漠然とした一般論より、まず聞きたい 内容を受診者に選択させた方が興味が湧くと思う。
調査した後に治療に繋がる取り組みがあった方がいい。歯ブラシでも歯磨き粉でも何か謝礼があった 方がいい。
歯磨き指導を行う
予約ができて待ち時間が少ないほど、スムーズに参加出来ると、思う
疾患があった場合のアフターフォロー(説明や治療など)
その人のあったオーラルケアの品をくれる
予約制ありで、早く。曜日は関係なく。近隣で。謝礼はあったほうが嬉しい。
アクセスに便利な場所で行われること
時間予約なしで、公共施設内での実施。
周知さえできれば参加者は増える
予約時間が決まってい待たされずに調査に入れること。診察結果をフィードバックしてくれること。
土日で時間の予約ができること
自宅近くの会場で予約なしの好きな時間に参加できる。短時間で終わる
現在の歯の状況と、自分に合った今後のデンタルケアの詳しい説明
平日はどうしても医者に行くことができない。休みを取るには、最低でも1ヵ月前から調整が必要。 土曜日や日曜日、少なくとも平日の夜遅くまで23時ごろまで対応できれば良い
ショッピングモールなど普段利用しやすい場所なら参加しやすいと思う
普段から歯科検診など自主的に受けている人はわざわざ行かないだろうし、虫歯や歯周病など気にしない 人は完全に無視だろうし、こういう実態調査をする意味があるのかどうかかわからない。まず、この調 査の意義と狙いを周知する必要があると思う。
面倒な手続きがなく、気軽に受診ができること。簡単な歯周病の予防が聞けるといいと思う。
実態調査の結果、国民の歯科の健康レベルがあがったなどの効果を証明する情報が公開されること
かかりつけ歯科医で実施してもらおうと嬉しい
最寄りの施設で予約が可能。必要な時間を明示する。健診結果の結論、アドバイスが有る。
口腔内診断をしてもらおうと助かるので何もなくて良いが、ギフトカードなどがあると皆が行くかも
順番を待つ間、何かイベントに参加できる
本人に歯の状態を詳しく説明し、今後改善できるアドバイスを的確に行う
大手スーパーで買い物のついでに予約なしで気軽に受けることができて、その結果を後ほど郵送で知ら せてもらえれば参加したいと思います。
自治体が調査場所の提供を行い、平日・休日いずれでも行える体制を整えること。また、広報をしっか り行う事。
買い物ついでに参加出来るとかがあれば参加しやすい
調査後に必要な人にはその後のアドバイスの機会を設ける。
平日遅い時間まで行っている
自宅から近い場所で日時の予約ができて待ち時間が少なく、調査後その場か後日にでも現状の結果を知ら せてもらえる（その結果こういう症状が考えられるので歯科への通院を薦めるやこういった症状の予 防法などを知らせてもらえる）と参加しやすいなと思いました。記念品などは特に必要がないと思いま した。
仕事終わりでも行けるような場所の設定と時間の設定をする
駅などの公共交通機関にポスターなどで事前にお知らせがあれば、興味を持つと思う
参加したら景品をもらう。待ち時間が少なく、家から近いところで受けることができる。
実施場所の候補、日時、曜日が複数候補あり、待ち時間が少ないように選べるようになっている。
口腔内の状況を分かりやすく説明して治療の要否を判断する取り組み。
歯科受診時や健康診断受診時に会場で。
プライバシーが守られ、あまり人に合わなくてよい
歯みがきに関する冊子付きの歯ブラシなどのセットプレゼント
自宅又は自宅近くの場所への参加が望ましい
短時間で分かりやすい調査にすれば、多くの人が参加すると面白いと思います。
場所も時間も予約できて時間もあまりかからず医師の検診結果あり
自分の掛かり付け医できちんと診ていただけるのであれば時間などは調整して参加したいと思います。 結果をきちんと集計して使って欲しいと希望します。
曜日を限定しない 交通アクセスが良い所を会場にする 予約制にする

歯ブラシなどをプレゼント
歯磨き指導をしてくれる
予約制で駐車場などが完備された場所での開催
歯の大切さの啓蒙運動
まずは歯の大切さ、口腔を清潔にする意義（口腔全般をきれいにすると、かかる体の病気が減る）ことを、本当のことなので、アピールすることだと思います。無料で歯の病気のあるなし判断、歯の掃除をすれば、参加したいという人が出てくるはず。私の偏見かもしれませんが、無料と聞くとその言葉だけで興味を示す人が多いです。
その調査に行き治療を進められるのでしょうか、断れなくなることが気になりました。歯科医院も患者さんを離したくない感じをいつも感じています。歯科医院の治療費も上がっていて驚かされる今、なるべくかかわりたくはありませんが一度に沢山の人の調査会場なら行ってもいいかな、と思いました。
土日祝は、それぞれ予定があるので、むしろ平日のほうが良い。近隣の歯科医だと、いろいろお付き合いがあったりして難しいので公民館等で行った方が良くと思う。予約は絶対あったほうがよい。説明はあとから書面でもいいので、すぐに帰れる方がよい。
口内の状態が全身の健康を大いに左右するという事をアピールし、無料で参加できる健診のようなものだと説く。歯科医師の説明が受けられる事が前提だが。
やっぱり恥ずかしいと思う人もいると思うので、歯科疾患は歯医者が良いのではと思います。
時間が短時間で終わること
人気の芸能人やキャラクターを起用し宣伝する。
事前説明会は省いてほしいです。診察後、医師からの口中や歯の状態説明は欲しいです。ショッピングモールで買い物ついでに予約なしで出来るなら有難いです。公民館は常に行かないので、広報などに分かり易くチラシを入れれば行くかもしれない
歯科検診の重要性を宣伝する
調査の後指導もしてくれる
土日、家から近くであること、すぐおわること、予約できるのであれば予約して遅延がないようにする、無駄な待ち時間がないこと
自分の歯が将来どうなるかのシュミレーションをしてもらえる
かかりつけの歯科医で日程の選択肢があれば都合のいい時を予約して参加したい
仕事帰りに予約なしでもすぐ受けられるということがわかる内容のキャンペーンとか。
時間や場所、予約方法の自由度をあげる
短時間で予約無しで参加可能であり、なるべく区内、市内などで交通費がかからない場所で行う。その時、または後日に無料で歯科検診が受けれるなど、何か歯医者に行くきっかけになるような謝礼が含まれていると、歯の健康にもつながるし良いと思う。
口腔内の状態を伝えてもらえると、ただ見られると思うより調査に行きやすくなると思う。歯ブラシやデンタルフロスをわたすなどしてもらえるとさらに嬉しいと思う。
自分の歯の状態を歯科医に教えてもらえ、今後どのようにすれば良いかの指導がある。
いつ来ても大丈夫なようにできれば、日時を問わず訪れられて、仕事している人でも行きやすい。
携帯やPCまたはハガキ等々から簡単に予約出来て、自宅や徒歩で行ける圏内の近所で行い、検査結果を説明、アドバイスしてくれれば多くの人が参加してくれるのではないかな
タウン誌に広告
調査後に「虫歯がある」や「歯肉炎が進んでいる」などの状況説明や歯磨き時の癖など教えてほしい。
調査だけでなく、個々の参加者の抱える口腔内の問題解決のアドバイス、専門医の紹介などの特典を付ける。健康診断の様なものであれば参加する。
歯科検診などの後に短時間でやる(医療機関と提携)
医師からの具体的な説明。 時間予約が可能。 歯にあう歯ブラシや歯みがき粉の進呈。 診察し、対応策のアドバイス。
待ち時間や検診自体の時間は短い方がいい。予約なし待ち時間なしで出来れば1番いいと思う。事前に簡単な説明と、終わった後の説明はして欲しい。歯ブラシなどの謝礼はどちらでもいいと思う。
歯の健康について真剣に考えるように周知する
行くことによるメリットをアピールするか、歯科疾患のデメリットを出したうえで、無料でできる、フラットと気軽に寄れる、短時間である、面倒でない。プラス何か貰える。歯ブラシだけでなく、歯科医師オススメの歯磨き粉や歯間ブラシ、キシリトール製品など
歯ブラシのプレゼントや、調査後に口の中の説明があれば
疾患状態を調査して、改善方法を的確にアドバイスしてあげれば謝礼は少なくとも参加すると思う
ガラポンで景品をあげる
歯のケアに必要なフロスや歯間ブラシ歯磨き粉はぶらりなどのセットをプレゼントする 電動歯ブラシなどなかなか自分で手を出さない人が多いのでそれらをプレゼントするなど
平日でも会社終わりの人たちも参加できる時間帯まで実施することが出来れば参加者は増えると思う。調査結果も文書にして提示し、異常があれば検査を促す事も必要だと思う。
待ち時間を少なくし、多方面からアクセスの良い場所で実施する
歯の状態や改善方法の説明を聞ける、記念品を貰える等のメリットがあれば良いと思います。 場所や時間は何かのついでに参加できるような所が良いと思います。
自分の調査結果をプリントして、 グラフなどでわかりやすく説明されたもので詳しく知ることができる。 あとは調査時間がどれだけ短く、且つ簡単に詳細なものができるか。

歯磨き粉やフロスなど他にも粗品がもらえるなら。
調査内容をしっかり詳しく提示してくれると分かりやすく参加しやすくなると思う
対象者の年代による効果的な日時と場所の設定
口腔衛生の重要性についての啓蒙
歯医者=怖いというイメージが拭いきれないので、そこを払拭出来ないと参加者は増えないと思う
おすすめの歯ブラシを提案、磨き方レクチャーをしてくれる
事前に説明会があるなら、日を分けて、その日にやって欲しい。動画などの説明で済むならそれが1番いい。自宅に来られるのは嫌だなと思うので、駅近などでやってもらえるなら良いと思う。予約が必要なら、何か有益な情報などもらえるとうれしい。
口の状態を説明してもらい、記念品があればより参加したいです。
歯ブラシプレゼント、どんな歯磨き粉を使えばよいか、歯磨きの実演等。
予約ができてスムーズに対応してもらえるといいかと思います。
自宅訪問、記念品の贈呈
そんな調査をやっていたこと事態初めて知った。まずは周知することが必要だと思うし、健康診断なんかと一緒にやればいいのではないかと思う。
調査の実施がある事を多くの人が知れば、参加する確率も多くなると思います。
ショッピングモールなどで短時間で実施、予約不要で、事前告知を早めに行う。
馴染みの歯科医院を指定できる。
歯ブラシや歯磨き粉、キシリトール入りのガムなどちょっとした歯に良い物が貰えたら嬉しい。
公民館や保険センターだと緊張してしまう。ショッピングモールとか買い物ついでに寄れる方が行きやすい。終わった後、医師からの説明や歯ブラシがもらえると参加者が増えそう。
キッチンカーがくるとか、野菜市があったりとか、すこしお祭りっぽくしてみる。
自分の歯の状態を詳しく教えてもらえる
気軽に参加しやすく、宣伝もテレビやラジオ、フリーペーパー、チラシなどで多くの人の目につくようにする
SNSでの発信
なるべく近隣の場所で時間の予約ができ、自分の歯の状態について歯科医師から説明があること
自宅から行きやすい プライバシーが守られる 衛生管理がきちんとされている。
歯科医がオススメする歯ブラシや歯磨き粉などの試供品をたくさん配る
休日、買い物などのついでに気楽に予約なしで参加できると良いと思う。
かかりつけの歯医者がある場合は歯科医院で、ない人は他の場所で、など 自分で受ける場所を選べたらよいと思います。予約もネットで受付して短時間で調査できる場所と、ショッピングモールなど予約なしで調査してもらえる場所など、それぞれが行きやすいやり方が選べれば、調査する人が増えるのではないかと思います。
歯科検診付
歯周病や虫歯などのレポートを一人ひとりもらえる、歯磨き教室の参加ができるなど
予約するのにアプリで可能とか、いつでも段取りが組めるような体制ならいいと思います。
謝金を払うのは厳しくても、歯磨き粉や洗剤など、何かを与え、家計の補助になれば良い。
参加した特典がなにかほしい
自分は歯科疾患に興味あるので積極的に参加したいが休日が確定の日曜が嬉しい また自宅に来られるのは好ましくない
休みの日で短時間。箱ティッシュひとつなど、実用的なものがあればなお良いと思う
買い物帰りにフラッと寄れるような商業施設の一角で、事前予約は不要のあまり時間を取らせない内容で金銭的な謝礼はなくても歯ブラシや歯みがき粉などの日用品がもらえるなら受けてもよいと思う。
子供がいる家庭には、託児があると気軽に参加できる。 調査の結果を説明してくれると嬉しい。
口の中の状態を知らせてくれ、歯ブラシの使い方などを教えてくれる。 また謝礼は歯磨きセットみたいなものが良いかも
虫歯予防に本当に良い商品の紹介 歯の状態を詳しく教えてくれる
歯科疾患実態調査の実施理由など、理解しやすくわかりやすい説明があれば理解する人も増え、調査できる場所が身近な場所であれば多くの人が参加すると思う。
土日 自宅若しくはかかりつけの歯医者 待たされない 記念品あり
なるべく短時間で、調査後は歯科医の説明が欲しい。
近隣のかかりつけ歯科医が実態調査に協力して頂けないか、患者さんにアプローチをすれば参加しやすいように考えます。また、実態調査をされる身としては信頼できる歯科医の先生がお話して下さいれば調査を受けやすいのではと思います。 調査はなるべく予約制で調査のリターンもあった方がよいかと思います。さらに、歯ブラシを頂ければ実態調査に協力して良かったと感じるのではと思います。
テレビで検診の重要性を放送し、口腔内に関心を持ってもらう
歯ブラシは配られても自分のお気に入りがあるので結局使わないから、メリットのあるサービスがほしい。
自分の歯の健康状態についての評価と対策
学校や会社などでも歯科疾患実態調査が必要だと思えるポスターや広告があってもよいのでは？
平日の夜の実施
歯科やスーパー等でポスターを貼る なるべく週末に開催する
時間があまりかからず、事前の説明会などが極力ないなど、拘束時間が短い方がよいと思う。 実施場

所についても、商業施設やショッピングモールなど、買い物ついでに参加できるとより人が集まると思う。あとは歯ブラシなどの記念品や、簡単な歯の状態チェックなどがあればなお良いと思う。
正しい歯磨きのやり方の指導やおすすめの歯ブラシと歯磨き粉が謝礼としていただける。待たずに予約などせず気軽に参加できる。ショッピングモールなどで買い物の合間に参加できる。
何か記念品などの特典がある方が参加者が増えるのではないかと思います。いろんな年代の方が参加できるよう、ショッピングモールや公民館など、一つのところではなく、いろんな場所で行うのがいいのではないかと思います。
口腔内の健康状況や、これから気をつけるべきことについての説明
近隣の歯科医院で時間が、決まっていて、しっかり口腔内を診てもらい、記念品（歯ブラシはいや）くれたらと思います
歯みがき指導
対象者の歯が健康になる情報を与える。
日程、時間を自由に選べる事。
口腔ケアの大切さをわかりやすく説明する
医師による結果を聞くことが出来れば、無料で自分の歯の状態を知ることが出来るので それなりに集まりそう。歯ブラシのプレゼントにも ひかれる人は 多いと思う。私のように自宅に来られるのは 嫌な人もいるかと思うが 寝たきりのお年寄りや外出の難しい方などは 参加することにより 歯をみてもらえて、医師の説明もあると 参加したい人は多いと思う。事前説明というのは どんなものか分からないが、歯科疾患の講座を開催して、その後に調査というのなら、興味のある人は 参加すると思う。調査のグループと講座のグループを分けて、待ち時間を少なくするとかの工夫は必要かも。説明会と調査日が別の日だと 面倒と感じる人もいると思うが 調査日が予約ありで 待ち時間が少ないのなら 良いかもしれない。
福引券を配布する。
歯科医などから、疾患状態や予防についての説明などがあれば、参加したいです。
事前に、調査の大切さをアピールする
「歯科疾患実態調査」の実施は、参加しやすい商業施設内での開催が良いと思います。良い歯になるためのクイズなど、お楽しみイベント開催があれば、家族で参加しやすいと思います。
駅前の場所がいいとおもう 土日がよい
駅などで近隣施設の公開告知する。
比較的行きやすい施設に気軽に参加できる感じでしっかり調査が出来、歯ブラシや歯磨き粉みたいな粗品がもらえる。
どこに調査が反映さえるのかわかる
歯の状態を明確に説明してくれることが最低条件になると思う。次に何らかの謝礼・記念品などの提供があればよい。場所や時間はあまり関係ない。
口腔洗浄液が貰えと行きたい。
予約や事前説明会がなく、いつも利用している歯科医院で行うなど
待ち時間がネックになることが多いのでできるだけ短いこと、子供を見てもらえたりしていただける環境（もしくは家）だと安心して受けられると思う
近隣の歯科医院ではなく、自分の かかりつけの病院等
近隣の歯科で予約をして待ち時間ぎ短くする事で参加者が増えると思う
自宅訪問して調査
近隣の歯医者で歯科検診や受診の延長線上でできるのであれば多くの人が参加しやすいと思う。ショッピングモールなどは買い物ついでに参加しやすいのでもいいと思う。歯ブラシなどの記念品はあるととてもうれしいし、参加してみようという動機になると思う。
歯を診てもらうことのハードルが下がっている歯医者などで募集したほうがいいと思う。
自宅に来てくれるのは一番ありがたいです。事前説明がなく、調査にかかる時間もなるべく早く終わるものだと気軽に参加できるのではないかと思います。
短時間で歯磨きセットをもらえとかすれば増えるのではないのでしょうか？
在宅介護などで外出することが難しい場合、自宅で調査してもらうことはありがたい。自宅での調査を好まない人もいであろうから、調査場所を自由に選択できるとよい。
歯科衛生士さんからのお手入れの指導や治療方法の相談会。
休日に自宅に来てくれるなら参加してもいいかなと思うが、公民館やショッピングモールなどの会場なら駐車場の確保が難しいと思うので参加が難しいと思う。
自宅に来られるのは怖いので公共施設等なら参加したい。平日は難しいのでできるだけ土日が参加しやすい。商業施設なら買い物のついでに行くこともできるので参加しやすい
被調査者が不安にならない会場で実施する。調査者・会場に清潔感がある。
歯科医師協会が勧める、非売品の歯みがき粉とか。非売品という言葉は興味持つと思う。歯医者とは関係ないが、美容院でスタンプを貯めると、美容院で使っているシャンプーを貰った事がある。
歯科医院で、歯の状態も教えてくれる
アフターケアもしっかりとやって貰えれば
検査をきちんとしてくれて予防策など提案してくれたらいいと思います
時間短縮、効率良く調査を行うべき
市町村で年に一度でも検診のような感じで歯科検診を歯医者で受けられるチケットか検診票を配布したらどうだろう。内科はこういう検診が普通に行われているし、歯科でもやっているところはある。

職場の検診だと働いていない人は受けられないので、市町村管轄が良いと思う。 歯科に事前予約できると歯科の通常診察の合間に入れてもらえるので、お互いに負担が少ないと思う。
社会的意義がある、納得感ある説明、個人的なお得感
予約無しで短時間で終われば良いと思う
良さを伝える。自宅に来てくれるのはよいと思う
夜遅くまで実施してる 子供を預かってくれる
他の健康調査と同時に実施する(人間ドック等)
歯ブラシや歯磨き粉などのサンプルと一緒にチラシを歯科クリニックや商業施設などで配布
どんな人にも受けられるよう、時間や曜日の制限を失くし、時間も 30 分以内など短時間でできるなら良いと思う
SNS で呼びかける
近くの歯科で時間がかからない。
調査結果を報告する
予約制で近くの公民館とかで実施する
かかる時間があらかじめわかる
この調査のことを知らない人が多いため、何のための取り組みか、どんな場所に参加できるのかをテレビ CM や各歯科医院で映像として流すと認識が高まって参加しやすくなると思う。
歯科医師の検診を経た適切なフィードバックを貰うことが出来るのであれば歯科検診の一環として行ってみてもいいかなと思います。また、そもそもの知名度の低さが課題としてあると思うので、会社や学校での PR が必要かと考えます。
仕事帰りでも参加できる時間帯、自宅や最寄り駅の商業施設や歯医者などでの受診
どうせ歯医者さんが見るなら、結果がどうであつたかを説明してほしい。 グッズとかはいらないから(貰えるならそれはそれで嬉しいが)とにかく、自分の健康チェックの為になる情報がもらえる方が嬉しいです。
土日など多くの人が休みな方がよい
歯磨きの大切さ歯から色んな病気を引き起こす事をする事
結果次第で何らかのステータスとなるような風潮を作る。
調査後、医師から説明などがあればうれしい
仕事をしている人は平日は無理です。あと家に来られるのは抵抗感があるので、近隣の歯科医院か通ってる歯科医院がいいです。もちろん調査するなら予約は必須。時間がもったいないので。あと調査して状態の説明をしてもらわないと気になるので説明も必須。謝礼金が無理なら、歯ブラシや歯間ブラシを記念品にしてください。
歯磨きの方法のアドバイスがもらえる
歯の健康を守ることで、将来、病気になるリスクが減る。対策しているのと、していないので、どのくらい金額に差があるのか視覚的に情報提供する。
動けない方々は自宅に訪問して調査したほうが良いと思いますが、商業施設等でしたほうが気軽に参加できそうな気がします
診断結果を書類でもらえる
調査してもらうからには、医師からの説明は欲しいなと思う。 あとは時間がスムーズに進んで欲しいと思う。
時間をオンラインで指定できる
有意義なアドバイスがもらえる
どれだけ大事かが伝われば
検診の必要性の啓発 検診機会の選択肢を増やす
歯磨き用品が粗品で貰える
歯の定期検診をしてくれる
歯の状況を具体的に教えてもらえると参加したくなると思います
病院や歯医者の検診のついでにやる
自分の歯の状態について説明をしてもらえる
歯磨きの方法をおしえてほしい
自分の歯の状態を知れてアドバイスがもらえる
日頃より通っている自分のかかりつけの歯科医院ならば、カルテもあり分かって くているので安心して調査を受けると思う。そしてアドバイスがあれば良いと思う。
万が一疾患が発見された場合、良い病院を紹介してくれるなど。
先程のアンケートにあったように、予約いらずで時間がかからないようであれば参加する人数が増えると思う。
時間がかからないようにして休日に行い、歯の状態についての説明などを受けられるようにする。
普段お世話になってる歯科医院で定期検診の様な形で参加出来、何かあった時は治療の予約をスムーズに行えと参加したい気持ちが上がると思います。
自宅で好きな時間、曜日にできること
調査をその日 1 日のうち自分の時間に合わせていけるというフレキシブルな形の調査になると良い。例えば、調査員を 1 日配置して、対象者は自分の好きな時間に行けるという形で。
参加者に何かの粗品を渡したり、 記念品を用意する。
休日の自宅訪問

働いている人は、土日に参加を希望し、無職の人は、平日を希望すると思います。自宅に調査に来られるのは、抵抗があります。調査に時間をさき参加するので、歯ブラシ、歯みがき粉などいただきたいです。
はがき等の案内を送り行きつけの歯医者で出来るようなら参加しようと思います。
参加者はくじ引きができて、日用品の景品が貰える。
施設の整った医院で予約制であれば参加するかもしれない
一人一人にアドバイスや質問などに答えてくれる
何か勧誘するのではないかという懸念を払拭して欲しい
スーパーなどに広告を張る
テレビ・ラジオやSNS等で口内環境の大切さを啓蒙する。 マイナポイントのようにポイントをつける。
広告に力を入れる
テレビラジオ、その他あらゆる媒体を介しての全ての年代向けにアナウンスする。その際参加するとこんなメリットがありますよ、と分かりやすく解説。自分もそうだが、そもそもそのような調査がある事自体、今回のアンケートで初めて知りました。
自宅に近く行きやすい施設での実施
自宅での実施、土日、時短で時間の指定が出来る
時間が短く、状況を教えてくれれば
仕事をしている人などは平日の遅い時間などに実施などすれば参加出来たりするのではないのでしょうか。あとは調査の案内や、検診という形にするとか、近くの歯科医院などを記載するなど…あとは子供がいてる主婦などは、連れて行っても大丈夫な施設や、見てくれる人がいてるとありがたいですね
調査の広報を幅広くする。認知度を上げる。
歯に関するアドバイスやグッズのプレゼント。
必要性をもっとアピールし、土日祝休みに実施
参加者はまず自分の歯の状況について知りたいという願望があるので丁寧な説明と異常があれば適切なアドバイスを提供することが必要だと思います。謝礼で集めるのではなく歯の健康状態のチェックを全面に出せば良いと思います。
歯科検診も合わせてしてもらえらる。
実態調査の結果が自分に返ってきて自分の状態が把握できること。
気軽に立ち寄れて、いつも目に着くところにある
できれば休日にしてくれると参加しやすくなると思う
調査をやっていること自体を知らなかったの知って貰えるようにする
どのような人がどのくらい参加するか分かれば
調査後に治療が必要な場合は信頼出来る歯科医院を紹介してくれる事
基本的にみんな日々の労働で疲弊しているので、手間がない（予約や別日に行く必要がない）・記念品があるは絶対に必須だと思う
わかりやすい説明にする、近所でいける場所に設定する。
仕事のひとが多いとおもうので夜間実施にする。
歯医者に来た人についてお願いする スーパーとか別の目的の人はあまり参加しないと思う
参加しやすければ良い。例えば、場所、時間帯や掛かる時間が短かければ良い。
歯に対する意識を変えるような講義などをおこなう
平日だと仕事があるので、わざわざ仕事を休んででも行こうとは思いません。なので、土日祝日の予約制であると行きやすいです。自宅ですてくれるのはありがたい事だと思いますが、家が散らかっているの私は嫌です。買い物ついでにとかであれば、子供を見てくれる方がいらっしゃったらありがたいです。
調査に参加した人に対して謝礼品を送る
土日で徒歩か電車で行ける範囲。
時間がかからず 30 分以内に終わるなら参加する人は多いと思う
プライバシーに保護と保証
そんな調査がある事初めて知りました。国民にもっともっと知ってもらう為に普及活動するべきだと思います。田舎の知らない店にはなかなか入らないけど大手のコンビニには買い物に行きますよね。あまり時間がかからない。普段利用している歯科医院や自宅で受けられる。
歯ブラシや口腔洗浄剤などの試供品の提供
一度で終わること。予約できること。情報が信頼できることから広く発信されること。
歯周疾患に罹ると、どんなことになるか説明。羞恥心への配慮。大きな声で説明しない、多数で見ないなど。
自宅近辺で待ち時間無し 講習も説明も短時間、話も聞いていて飽きない
参加しやすい日時 拘束時間が短い 最先端の技術を紹介する
歯科医院のガムやフロスを配布
具体的な歯科指導
待ち時間が少ない
平日の施設の調査で時間あまりかからない
時間がかからず、簡単なものであれば参加してもいい
仕事が休みの日に予約もできて、待ち時間が少ない。

企業・学校にて勤務時間内に実施。
もともと取り組みすら知らなかったの、献血並みの広報活動をしないと認知されないと思います。
駅近の施設など、アクセスしやすい場所で調査を行う
実施日時が予約ができる 場所の選択肢がいくつかある
ある程度の期間で、参加しやすい場所で、待ち時間なく、短い時間で、参加できるのが、望ましい。
交通のアクセスが良い事。予約ができること。指導をしてもらえること。
自身の口内状態の説明（フィードバック）は必須であると思います
来場した人に魅力的なプレゼントがあればいいと思う。あとは皆が参加しやすいような日時にする。
歯の健康を損なうと、具体的にどのような健康被害が出るかをポスターや掲示物等に記載する。特に若い人に向けて。診断後医師から説明があり、歯がどのような状態か教えて貰える。
歯科疾患実態調査を行う意図の説明を行うことや実施参加者に対してどのようなメリットがあるか説明する。
行きやすい場所、短時間、医師からの説明あり
記念品をもっと実用性のあるものにする。ハミガキ粉、歯間ブラシなど
予約をとって、待ち時間がかからないようにする。歯の状況など、医師から説明があり歯ブラシなどの記念品を送るとかがあれば増えると思う。
歯ブラシと歯磨き粉のセット 子ども向けなら虫歯予防の歯磨き時に使える歯ブラシや歯磨き粉、鏡など
予約がなくすぐ調査できるようにすればいいと思う
なるべく公共施設で時間を短くする必要があるかと思ひます。
曜日や時間帯の指定や自宅で簡単に参加できるなど
歯の大切さを大々的にPRする 歯科指導を行う前提で実施する
モールなどのイベントで大切さを学べるイベントを開催する
ネットで自分の歯の診断結果が閲覧できるようにする。
かかりつけ医に依頼する!
予約ありは必須で、土日休みや平日の夜などに実施できる。自宅だと逆に部屋を綺麗にしなければ…とか、そんな部屋が無いなど億劫になるから、ショッピングモールで買い物ついでにだと行きやすい。あとはこの検診を受けることで、こんなメリットがあると言うことを、書面でしっかり知らせる。
広報とかの、情報量が多くあると良いと思う
説明などは書類で済ませて短時間で終わるようにすると思う。歯にいいガムなど歯に関する品物もあるといい
検査結果やアドバイスを印刷してわたすかデータで渡す
その場で口の状態を説明し、説明会などは無しにして、終わったあとに記念品(歯ブラシなど)を贈呈したりすると多くの人が参加すると思う。
調査に参加することのメリットを周知させる必要がある。予約をさせるなら待ち時間は少なく調査の時間も少ない方がいい。
事前に説明があり、予約がとれて待ち時間がないようにする。簡単な歯のお掃除をしてもらえる
ただ診てもらっただけではなく、個人それぞれにどのような取り組みをすれば良いかなど、アドバイスをくれるような実施の仕方はもちろんのこと。近年ではホワイトニングなどが流行ってきていると感じるので、一回体験できるなどと言うふうに何かしらの流行を体験できるなど、ちょっとした工夫をすれば参加者を増やせると感じた。また、歯ブラシをプレゼントするなどの項目があったが、ただの市販の歯ブラシなどではなく。歯医者の方が使っている、しっかりとした歯ブラシなどをもらえるのであれば個人的には嬉しいと感じました。
歯と健康についての因果関係を説明してくれる
近くの歯医者で土日祝日可能で予約制
平日は仕事の為、土曜日、日曜日、祝日などの方が良い。自宅に来られるのはいや。予約ありもストレスを感じる。献血車みたいに、日程、開催場所などを事前に知らせて、帰るときには簡単な説明、それと歯ブラシ一本でももらえると嬉しい。
口内状況で、いろんな病気と関連している事をたくさん説明することで、一人一人が関心を持って診てもらいたくなると思います。早期に色々と、悪いところは、早く治す、指導も同時にしてもらえたら、病気になりにくい世の中になると思ひます。
多くの人が休日である土日の開催、スーパーの駐車場などであれば、健康診断のようなバスでの検診が良いと思ひます。
自宅より、施設などの多くの人が集まる場所で実施したほうが良いと思ひます。
テレビ番組内で宣伝したり CM を放送したり、有名人の方々に宣伝してもらったりして参加人数を沢山募れば良いと思ひます。
積極的な SNS(動画含む)を利用した告知
人が密にならないように完全予約制。場所は近場の各々が選んだ歯科。広告をうつ。実態調査の必要性の説明をわかりやすく目に留まるように。もしくは献血のように街で通りすがりの人が受けられるように呼びかける。
医師の説明はあった方が良く思ひます 謝礼は歯ブラシは、ありきたりな気がする
参加者の口腔の状態について、歯科医師による診察を行なった上で説明をする。
所要時間などを詳しくかく
内容を明確にし、どのくらいの時間を要するのか知りたい。

オンラインで実施できるように工夫する
歯の重要性を伝える
人目の気にならない
予約なしで参加できたり、参加した人に景品があったりすると思う。
きちんと結果のフィードバックがあること
待ち時間が短いと良いと思う
結果の説明や、歯ブラシなどの歯科衛生グッズが貰えたらいいと思います。
予約なしで手短に見てもらえてせっかく見てもらうのだから歯の状態を教えて貰えたりすると個人的には見てもらおうかなと思う。
歯科治療と一緒に調査のお願いをされれば時間があるなら良いかと思う。
なるべく調査時間を取らない
あまり混まないように予約制をとる
予約は面倒くさい。自宅は嫌。 広く知ってもらふことと、血管年齢測定や骨密度測定などの他の健康イベントといっしょにやったほうが良さそう。
歯科疾患実態調査の参加にあたって実利メリットが無いと参加者数は、増えないと考えます。と言いますのも、歯科疾患実態調査の参加者は、参加するにあたって、参加場所（歯科施設・スーパーマーケット等の商業施設・公民館等のフォーラム）に行くコスト移動費がかかっております。また、歯科疾患実態調査の参加するにあたって、その参加者の時間を消費しております。更に、歯科疾患実態調査の参加するにあたって、どのような調査をするのかという不安ストレスも受けております。以上のことから、それらを上回る実利・メリットが必要と考えました。歯科疾患実態調査に参加するメリットとして、調査と健診サービスも受けられる・歯科に関する悩みや相談ができる、歯磨きの仕方をレクチャーして貰える、商業施設で実施したらその商業施設のクーポン券や割引券をもらえるというサービスを歯科疾患実態調査時に提供するのはいかがでしょうか。ただ一番最も良いと思うのは、少額でもギフト券やクーポン券を配るのが最もより多くの人が参加する手段とわたしは考えます。以上が私の考えになります。宜しくお願い致します。
土日祝日でなるべく待ち時間などがなく、調査時間も短くする
現在の状態と今後の方針が明確にわかるようなことができれば参加したい。
ネットでの募集 継続的な歯科受診に繋げられる情報提供 歯科受診時の割引など
自宅に来てもらうより、近隣の歯科やショッピングセンターの方が気軽に参加できる気がする。事前説明と、歯の健康を守るための指導をする。
日本人全体が歯の意識が低い傾向にあると思う。まずは根底の部分をもっときちんと把握するようにすること、またしつこいくらいの宣伝は必要だと思う
検診を兼ねて定期的に行い、都度フィードバックがあると歯の健康意識があがり助かります。 平日よりは土日の方が行きやすいと思います。
上の子を見ている間下の子を保育士さんが見てくれる
平日、土日、朝から夜まで、調査時間や曜日を幅広くしてもらい参加しやすくする
公共の施設か近くの歯科医院で予約制で検診を行い、結果を説明してくれたら都合の良い日時で時間を見つけて検診に行くと思う。
休日にうけられて、時間も夜遅くまでできる、待ち時間を少なくする、時間の10分か15分くらい前に連絡をもらえる。
空いた時間で行える(時間に融通がきく)
歯、口腔等の大切さ、重要性をわかりやすく。頭ごなしでなく。楽しく知らせる。
土日や夜間など、働いている人も行けるように多様な選択肢を用意する。
待ち時間が少なく、土日も行ふ。
歯の病気をそのままにしておくといけないことをしっかりと伝えて定期的にチェックしておくことを推奨する
自分にとって将来的に健康になれることが実感できる。
子供の遊ぶ場がある
日曜や平日の遅い時間も可能にする。 説明後治療が必要な場合、その場で予約取れるようにする。携帯で予約できるようにする。 謝礼にその治療で使えるクーポンを発行する
土日のショッピングセンター予約なし。 個別のスペースが確保され、時間がかかる様なら、買い物して待てるような予約システムがあれば参加したい
参加しやすいような 大型施設などで行うと思う
土日祝などの休日や平日でも18時以降等の遅い時間に対応してもらえば働いている人達も参加しやすいと思います。 検査ついでに軽く歯石取ったりの清掃して貰えたら嬉しい。 謝礼は無くても良いと思うけど、人によっては歯ブラシ1本でもあれば違うかな？
場所はパブリックな施設でも良いが衝突などである程度プライバシーが守られていて欲しい。働いたり子育てがあるとたとえ主婦でも平日は忙しいため土日どちらかでもできるようにしてほしい。また、医師からの診断結果は必須。なければわざわざ行く必要はない。プレゼントはあってもなくてもよいがプレゼントの有無で人が集まるとは思えない
歯ブラシの記念品 モール等の広場での開催